

うぐいすだより

美祢市立桃木小学校
学校だより
平成24年度第8号
12月1日

盛り上がった桃木小まつり

「もみじ」の歌詞そのもののように赤や黄色に美しく紅葉した学校周辺の山々に目を奪われます。寒い冬の到来の前に自然が見せてくれるプレゼントのように思えてきます。学校では12月1日の持久走大会を目指して、いきいきタイムに子ども達と職員が朝のジョギングをがんばっています。毎年の行事ですが寒い朝に白い息を吐きながらみんなががんばることを大切にしたいと思います。

さて、11月11日にはたくさんの地域の皆さんにお越しいただき「桃木小まつり」を盛大に行うことが出来ました。学習発表会では温かい声援のなか、子ども達は日々の学習の一端を一人ひとりの個性を生かした演出で表現することができました。昨年につき、学校職員は日本昔話から「かさこ地蔵」を発表し、PTAの方々には楽しいコントを見せてくださいました。7名の子ども達も参観された皆さんも楽しく盛り上がった場面でした。ふれあい市では保護者の皆さんや講師の方々のおかげでお腹も心も温まる豊かなひとときを過ごさせていただきました。また、地域の皆さんの作品には手作りの良さにぬくもりを感じることができました。あいにくの雨で地域の皆さんの参加が少なかったのは残念でしたが、今年も桃木まつりがたくさんの皆様のお力添えで実施できました。保護者や地域の皆さんありがとうございました。

チャレンジ目標

- ・お気に入りの本をふやそう (知)
- ・みんなと楽しく元気に遊ぼう (体)
- ・元気なあいさつで心を伝えよう (徳)

交流学習と小中連携の取組を通して



ホーホケキョ
だれかがお休みすると寂しいね。
一緒に遊ぶのはやっぱり、みんながそろわないとね。
寒くなるけどかぜをひかないように気をつけよう。

ホーホケキョ

先日、豊田前小学校1・2・3年生との交流学習を森の駅で実施しました。秋の山々で紅葉した葉っぱや枝、ドングリなどを見つけ楽しい作品作りをしました。秋の自然を満喫した楽しさで子ども達の顔は輝いていました。ランチルームで37人の児童が賑やかに給食を食べ、昼休みも一緒にサッカーや遊具で遊びました。危険遊具と言うことで他の学校では見られなくなった回旋遊具が子ども達の人気です。けがが多いからとカッターの使用やスリルのある遊具を遠ざけていく昨今ですが、ブランコや滑り台にはない楽しさに飛びつくのが子どもだなあと感じます。けがをしないように先生達が見守る中で歓声を上げて遊んでいました。多人数の中で桃木小学校の子ども達がどのようになじんで遊んでいるかを観察しました。自分の好みにあった運動の集団に入って楽しむ様子に安心しました。やはり人数が少ない学校の児童に交流学習は欠かせないと思います。

11月13日に豊田前中学校2年生の職場体験発表会があり、小中連携で5・6年生が参加しました。中学生全員がパソコンのパワーポイントを使って、郵便局や保育園、菓子店や建設会社での体験を落ち着いた態度で発表していました。一人ひとりを大切に指導されている豊田前中学校の実践が心に残りました。

聞いている小学生は、真面目な態度で聞くことができ、将来の仕事への関心がもてました。現在、就労しても2、3年でやめていく若者のニュースを耳にしますが、仕事をすることは義務であり権利でもあると思います。小学校時代は、将来の仕事の具体的な姿は思い描くことは難しいが、どういう思いで生きていくかを考え、学ぶ力を育てていくことが重要だと思います。そのために日々の学校生活が楽しくやりがいを感じられるように力を入れています。また、友達と協力して学習や遊ぶことができる子どもを育てたいと尽力しています。